

2026 年 7 月 16 日

株式会社ベネッセスタイルケアグループ

株式会社ベネッセスタイルケア

高齢者向けホームのご入居者と地域がアートでつながる

「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展 2026 夏」

約 100 点の作品を展示

五感でつながる「体験型アート」や、「対話型鑑賞」を実施

株式会社ベネッセスタイルケアグループ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：小林 仁）のグループ会社である株式会社ベネッセスタイルケア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝山 真也）は、ベネッセの高齢者向けホームのご入居者様のアート作品を展示する「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展 2026 夏」（以下、紡ぐ美術展）を、2026 年 8 月 19 日（水）から 8 月 23 日（日）まで、アートフォーラムあざみ野（横浜市青葉区）で開催いたします。

今回の美術展では、絵画や陶芸、書道、写真など約 100 点の作品展示に加え、ご入居者様が制作した作品に実際に手で触れて鑑賞する「体験型アート」を初めて実施します。また、Benesse Art Site Naoshima／ベネッセアートサイト直島（BASN）の協力による「BASN 対話型鑑賞」も開催し、アートを通じて、ご入居者様と地域のご来場者様との交流の機会を創出します。

「紡ぐ美術展」は、ご入居者様の自己表現やその方の可能性が広がり、さらには地域とつながる取り組みとして 2023 年度にスタートしました。2026 年 3 月開催時には過去最多となる 932 名にご来場いただき、今回で 5 回目の開催となります。ご入居者様お一人おひとりの人生や想いに触れられる作品展示に加え、五感を使った新たな鑑賞体験をお届けします。

■「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展 2026 夏」開催内容

- ・日程：2026 年 8 月 19 日（水）～8 月 23 日（日）
- ・時間：各日 10:00～17:00（入場は 16:30 まで）
※ 8 月 23 日（日）は 14:00 まで（入場は 13:30 まで）
- ・場所：アートフォーラムあざみ野 ※入場無料、ご予約不要
（神奈川県横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3）

＜展示作品／対話型鑑賞について＞

- 展示作品
- 個人作品



ご入居者様がホーム入居後に制作された作品だけではなく、ご入居前に取り組みされていた作品を含めて展示します。絵画、陶芸、写真、書道など約 100 点の作品には、ご入居者様お一人おひとりの人生の歩みや趣味、価値観が表現されています。

制作や展示を通じて、一つひとつの作品が輝き、あらためてご入居者様が自信を持つことにつながったり、その方の可能性や意欲がさらに高まったりすることを目指しています。

（左写真：今回作品出展を予定されているご入居者様とその作品）



・合同作品



2026 年度はベネッセスタイルケアが川崎市・横浜市・町田市などで運営する 31 ホームのご入居様が協力しながら共同作品制作に取り組みました。団扇や風鈴など夏らしさを感じられるような作品や、ホームの作業療法士と取り組んだお花紙アート、ご入居者様や職員の自宅で眠っていた古布やボタンを使ったアップサイクルアート、未来へ紡いでいきたいメッセージを書き記した立体作品など、多彩な作品が並びます。本年はスイカや花火、海をモチーフにした合同作品も多く、夏らしさやみなぎる活気を感じられます。

(左写真：合同作品制作に取り組まれるご入居者様)

・体験型アート



今回は新たな試みとして、ご入居者様が制作した「触れて楽しむ作品」を展示します。作品を見るだけではなく実際に触れながら、その感触や気づきを言葉にあらわすことで、ご入居者様とご来場者様が五感でつながっていく新たな鑑賞体験を企画しています。

(左写真：五感でつながる「体験型アート」展示予定作品制作風景)

●対話型鑑賞

ベネッセアートサイト直島で実施している「BASN 対話型鑑賞」では、アート作品をファシリテーターや他の方とともにグループで見て考え、感じたこと、発見したことなどを言葉にして共有する中で、自分自身の価値観に気づき、他の方への理解へとつながる鑑賞体験を提供しています。前回の美術展でも好評いただいた会場での“対話型鑑賞”。今回もベネッセスタイルケアのホームのご入居者様と、社員のファシリテーターによって実施します。会場で鑑賞するご入居者様の様子をご覧になることで、その方の心に起きている現象を追体験していただくこともできるのではないのでしょうか。

＊日時：2026 年 8 月 19 日（水）～22 日（土）14:30～15:30

参加費無料／参加希望の方は当日スタッフにお声がけください。

～参考：地域にも広がる対話型鑑賞～



ベネッセスタイルケアでは 2024 年度から、アートを介したコミュニケーションの場づくりとして、ホームでの対話型鑑賞会を継続的に実施しています。ベネッセの保育園や学童クラブのお子様たちも参加し、世代を超えた交流の場としての取り組みの輪が広がっています。また、ホームでの認知症カフェに対話型鑑賞を取り入れるなど、地域の方が定期的に集える交流の場として広がりを見せています。会場でもご入居者様が参加する対話型鑑賞を実施し、アートを通じた交流の場を創出いたします。

(左写真：ホームで開催したベネッセの保育園と合同での対話型鑑賞の様子)

ご入居者様とご来場者様が五感でつながることのできる新たな鑑賞体験を取り入れ、さらに進化した「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展 2026 夏」。ベネッセスタイルケアは、これからもご入居者様お一人おひとりの「その方らしさに、深く寄りそう。」ことを大切に、アートやコミュニケーションを通じた豊かな暮らしの実現と QOL 向上に取り組んでまいります。また、ご入居者様と地域社会との新たなつながりを育む活動を通じて、誰もが自分らしく暮らせる社会の実現に貢献してまいります。

■「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展」について

ベネッセスタイルケアでは、アートを通じてご入居者様お一人おひとりの人生や価値観、その方らしさに触れることを大切にしています。

「紡ぐ美術展」は、ご入居者様がご自身の想いを自由に表現する喜びや創作の楽しさを感じるとともに、共同作品を作り上げる達成感や作品展示を通して得られる自信につなげることを目的として 2023 年度にスタートしました。

2024 年度にはベネッセの保育園児との共同制作、2025 年度には来場者参加型アートを実施し、世代間交流や地域交流へと取り組みの幅を広げてきました。2026 年 3 月開催時には、ベネッセの保育園児に加え学童クラブの子どもたちとの共同作品も展示し、過去最多となる 932 名の方にご来場いただきました。

制作活動や鑑賞体験を通じて生まれる対話や交流は、ご入居者様の自己表現や QOL 向上だけでなく、介護職員がその方の想いや価値観をより知る機会にもなっています。アートを介した豊かなコミュニケーションの機会を創出し、その方の人生、歴史、想いに触れ、さらなる QOL 向上につながるサービスを提供し続けていきたいと考えています。

<ベネッセスタイルケアグループについて>

ベネッセスタイルケアグループでは、ベネッセの不変の企業哲学「Benesse（＝よく生きる）」のもと、30 年以上にわたり、入居・在宅介護事業、保育・学童事業を通じてその方らしさに深く寄りそい、お一人おひとりの「よく生きる」の実現に取り組んでいます。急速に進む少子高齢化と介護人材不足などの介護・保育を取り巻く環境の大きな変化の中でも、誰もが人生の節目を楽しみながら、自分らしく豊かに生きられる世界を実現できるよう、介護・保育領域を中心とした「人」に関わる社会課題に今まで以上に積極的に挑戦を続けていきます。持続可能な介護・保育事業の推進のほか、介護食事業・介護 HR 事業の取り組み、さらに働き手が不足する日本における介護・育児と仕事との両立支援サービス等、社会課題の解決に向けた取り組みを一層加速させていきます。（ベネッセスタイルケアグループ企業サイト <https://benesse-scg.co.jp/>）

【「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展 2026 夏」についてのお問い合わせ先】

株式会社ベネッセスタイルケア お客様相談窓口

フリーダイヤル：0120-02-3715（受付時間 9:00～18:00 土・日・祝日含む毎日）